

令和6年度
第2回 台東区区政サポーター
アンケート調査 報告書

「観光振興について」

「会議室・集会室の予約について」

「献血、骨髄ドナーの登録について」

台東区 総務部 広報課

令和6年度 第2回 台東区区政サポーターアンケート

区政サポーターとは

資 格：公募による区内在住の中学生以上の方

活動内容：区政に関するアンケートを郵便または電子メールで回答する。

任 期：2年（令和5年4月1日～令和7年3月31日）

目 的

区政サポーターの方に区の課題となっている「施策や事業に関するアンケート」に回答していただくことによって、区政への参加を図ります。また、アンケート結果は区民の貴重なご意見として、今後の区政運営の資料といたします。

内 容

- (1) 観光振興について
- (2) 会議室・集会室の予約について
- (3) 献血、骨髄ドナーの登録について

調査概要

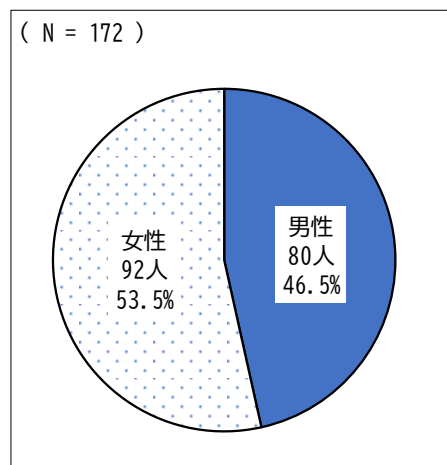
調査期間 令和6年7月5日（金）～7月18日（木）

対 象 区政サポーター200名（郵便によるサポーター62名、Eメールサポーター138名）

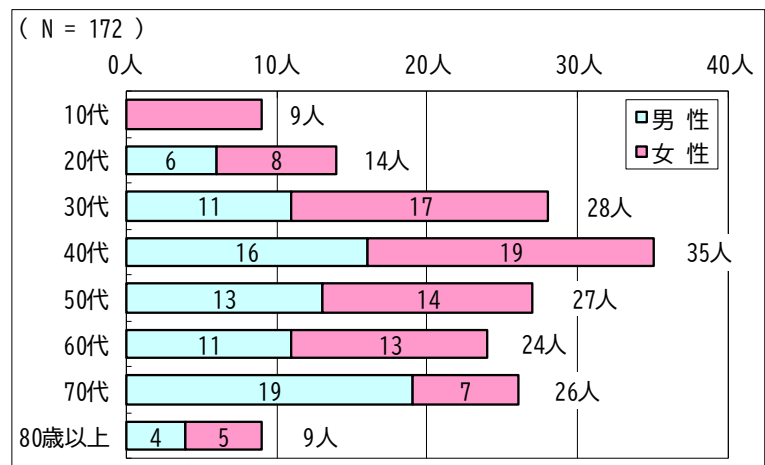
有効回収数 172名（郵便59名、Eメール113名） 有効回収率86.0%

回答者の属性

性別



年代別



地区別（区民事務所・分室・地区センター）

地 区	竹町	東上野	上野	入谷	金杉	谷中
男 性	2人	5人	5人	14人	9人	4人
女 性	3人	1人	4人	11人	11人	5人
計	5人	6人	9人	25人	20人	9人
地 区	浅草橋	浅草寿	雷門	馬道	清川	合計
男 性	8人	11人	7人	8人	7人	80人
女 性	8人	13人	11人	12人	13人	92人
計	16人	24人	18人	20人	20人	172人

職業別

職 業	自営業・ 個人事業主等	会社員・ 公務員等	主婦(夫)	学生	無職	その他	合計
人 数	24人	68人	29人	16人	25人	10人	172人

目 次

I 調査結果の分析

「観光振興について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

「会議室・集会室の予約について」・・・・・・・・・・ 7

「献血、骨髄ドナーの登録について」・・・・・・・・ 14

II アンケート質問と回答・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

報告書の表記について

- (1) 回答の構成比率(%)はすべて百分比で表し、小数点第2位を四捨五入しています。そのため、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがあります。
- (2) 基数となるべき実数は、Nで表しています。
Nは、回答者総数または該当設問の該当者数です。
- (3) 複数回答の設問は、各選択肢を1つだけでなく、2つ以上選択するため、各選択肢の合計数字が100%を超える場合があります。
- (4) 自由意見は、文字制限がある為、要約して掲載する場合があります。

※この報告書は、区のホームページ <https://www.city.taito.lg.jp/>に掲載しています。
(トップページ>区民の声>台東区区政サポーター)

I 調査結果の分析

【観光振興について】

新型コロナウイルス感染症が収束し、様々なイベントや行事が通常開催されるようになりました。減少していた観光客数は回復傾向にあり、今後もさらに観光客は増加することが予想されます。引き続き、状況の変化に対応した観光施策を推進していくことが重要です。

今回の調査によると、台東区に多くの観光客が訪れることについて「好ましい」「どちらかという好ましい」と思う方は全体の8割以上でした。

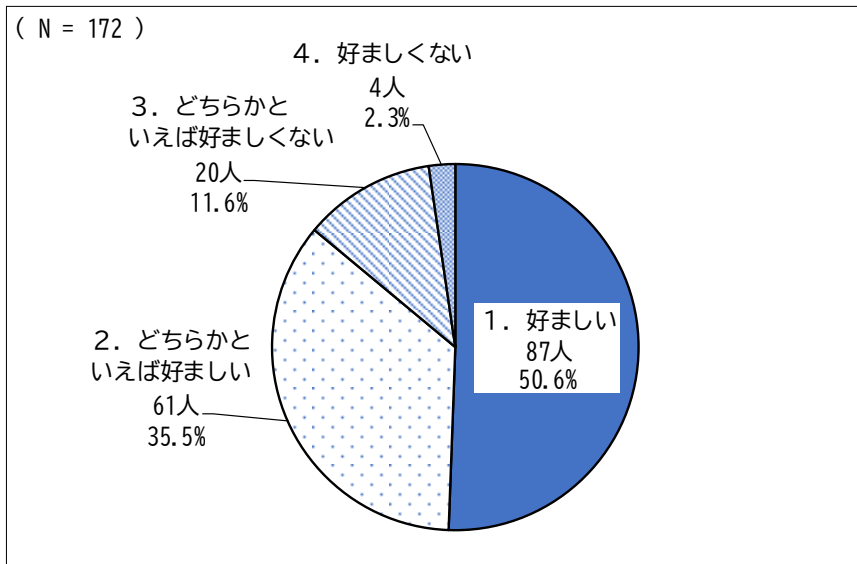
観光客が訪れることによるプラスの効果は、「飲食業や宿泊業、地場産業などが潤い、経済効果がある」「台東区の知名度・イメージアップにつながる」などの回答がありました。

一方で、観光客が訪れることによるマイナスの影響として、「ごみが増える」「混雑の要因になる」「マナー悪化の要因になる」と回答した方が多くみられました。

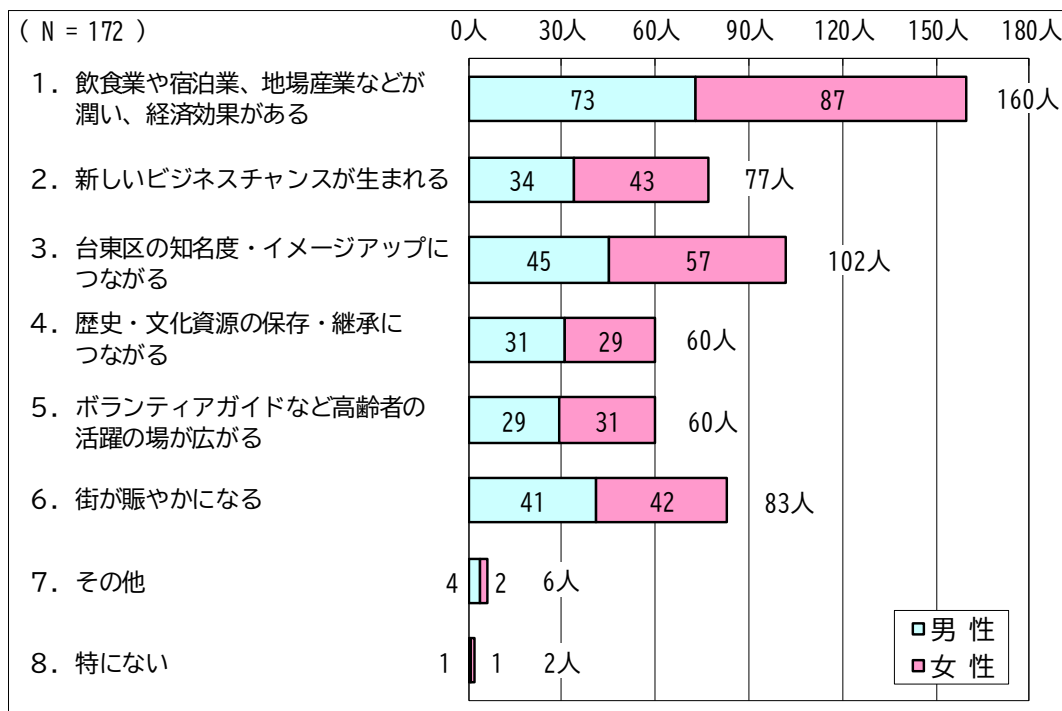
今回の調査結果を参考に、区民の皆様の安全安心につながるよう、今後も様々な課題に対する総合的な観光施策を展開してまいります。

(文化産業観光部 観光課)

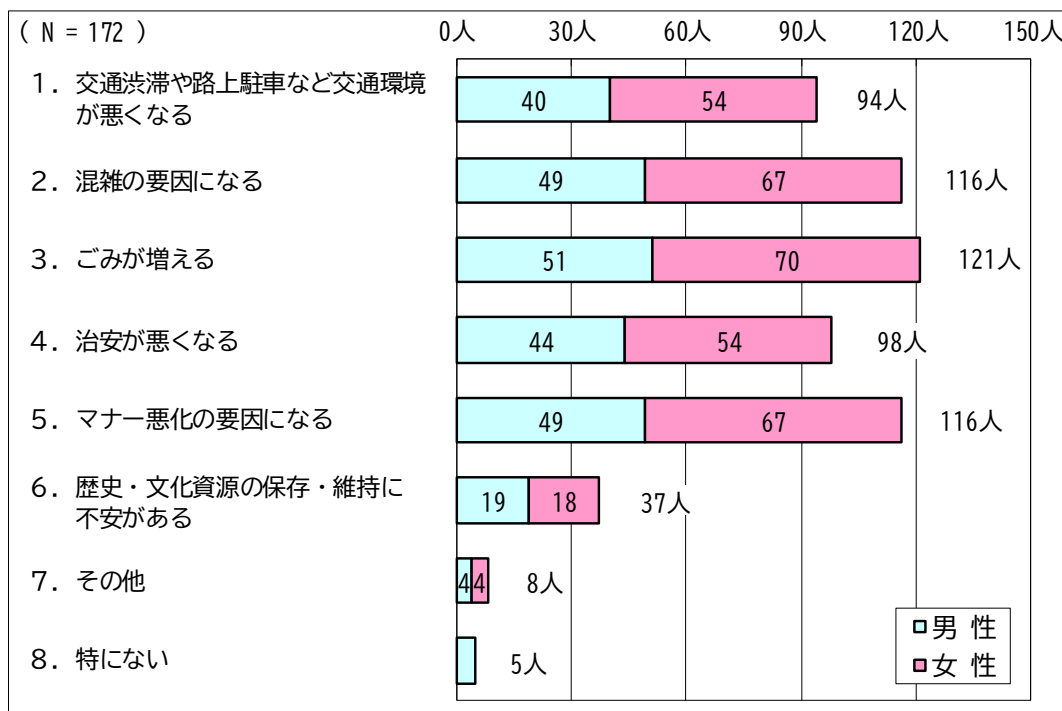
設問1：台東区に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。



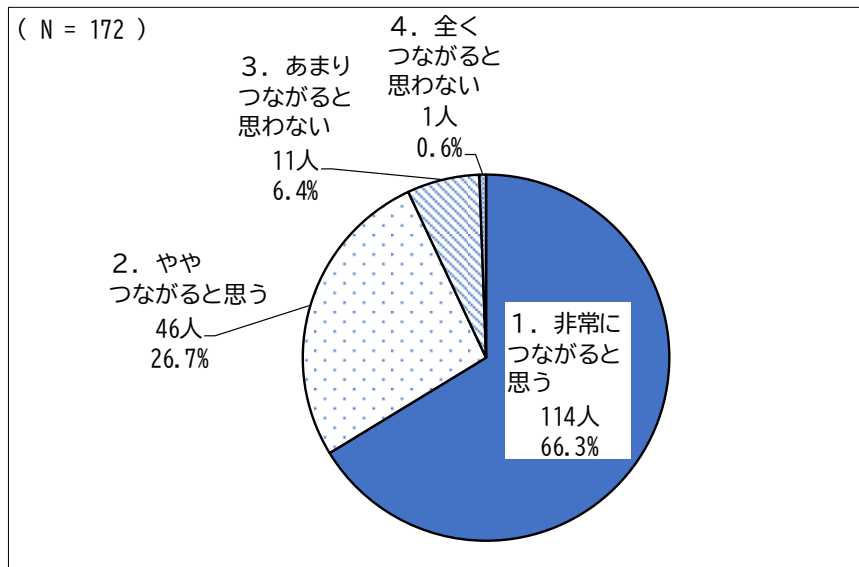
設問2：観光客が訪れることによるプラスの効果は、どのようなことが考えられますか。
 (複数回答可)



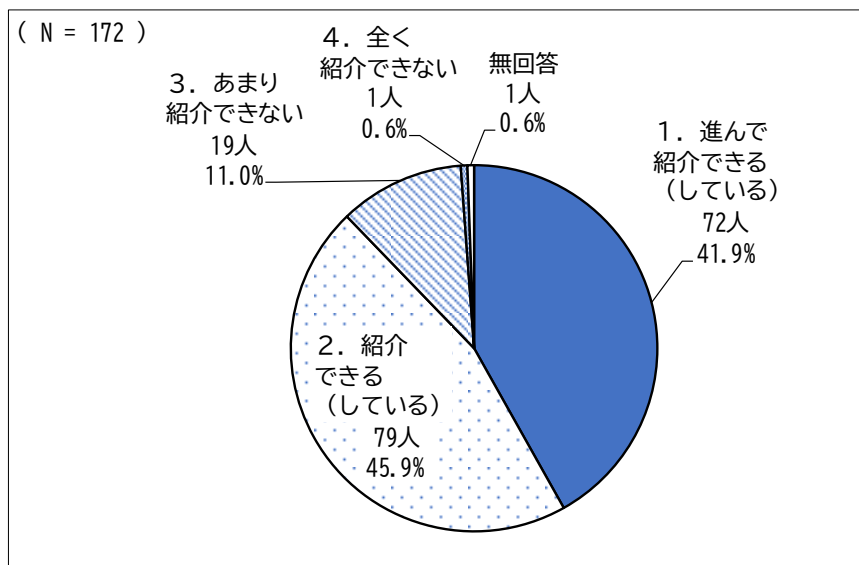
設問3：観光客が訪れることによるマイナスの影響は、どのようなことが考えられますか。
 (複数回答可)



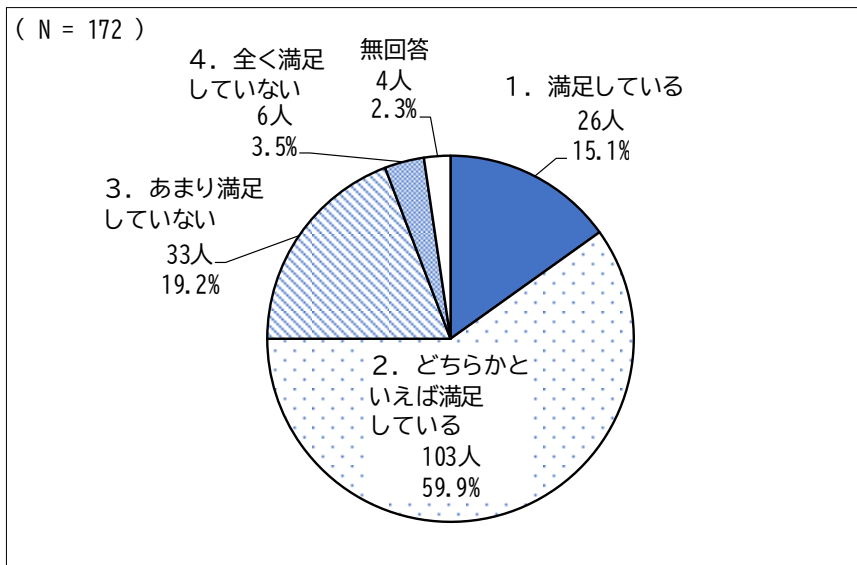
設問4：施設・道路等のバリアフリー化の推進や公衆トイレの整備、利便性の高い交通網などの観光基盤を整備することが、区民生活の向上につながると思いますか。



設問5：あなたは、台東区を魅力ある観光地としてほかの人に紹介できますか。



設問6：区の観光振興への取り組みについて満足していますか。



設問7：観光振興についてご意見がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・季節ごとにイベントが多々あり、1年を通じて楽しく過ごせると思う。
- ・浅草と上野の2大観光地を抱える台東区のポテンシャルは、まだまだ伸び代があると思う。
- ・積極的に観光客と接して街の発展・PRに繋げてもらい、地域活性として尽力してもらってありがたい。
- ・祭りの時など、他県や他区へのアプローチなどすればもっと活性化すると思う。
- ・観光ガイドに関して整備すると良いと思う。長く住んでいる住民や自営業者の人等、ボランティアやアルバイト等で魅力を発信すると良いと思う。各エリアの住民からの隠れた魅力も配信すると良いと思う。楽しみ方を紹介すると観光客も増え、価値が高まると思う。
- ・浅草橋や蔵前周辺の観光振興にも力を入れてほしい。
- ・日々観光に訪れている外国人を見ると、一様にみな楽しそうなのでこちらも楽しい気分になる。今はスマホがあるからか、道を尋ねられることもない。観光振興の在り方もネットによる情報提供の占める割合が多くなっているかと思う。
- ・おむつ替えの施設やトイレなどの設置が多くとても助かっている。しかし、浅草寺付近はマナーを守らない観光客が多く、エレベーターに乗れないなどベビーカーで過ごすときにデメリットになることも多いので、ぜひ案内の方に積極的にマナーについて注意してもらえると嬉しい。とはいえ、そんなサポートなどでも仕事が生まれ雇用が増えるなど活性化に繋がり、とても良いと思っている。
- ・観光も重要だが、区民生活が一番重要だ。
- ・現在、各地で外国人問題が多発している。区としてどのような対策を考えているのか、対応策はあるのか知りたい。
- ・区がどのような観光振興事業をされているか、広く積極的に広報してほしい。

- ・ 振興の裏でごみの問題がある。外国に比べ「捨てる場所」がほとんどないという外国人の声も聞かれるので、同時にこちらでも対策していくことが急務と考える。
- ・ ごみ、混雑、治安とか不安材料に対しての対策が必要と思う。
- ・ 外国の観光客が増えることは嬉しいことだが、ごみやたばこのポイ捨てが増えてきている。街路樹の隙間などごみだらけになっていることもある。
- ・ 台東区は観光資源がたくさんあるが、公衆トイレの位置や熱中症予防のために自動販売機やウォーターステーションなどの位置を知らせるサイトやチラシがあっても良いかもしれない。万一災害になってしまっても安全なように、避難所などもわかるようになっていると安心して台東区に来られる。
- ・ 観光客の影響で混雑等がある。他の自治体のように、観光税を取り入れるべきと考える。
- ・ 観光客が訪れることで経済効果があり、地域が潤うことは理解しているが、日常生活において、屋外に出ると観光客があふれており、混雑していることにより時間とパワーが必要以上にいることが苦しい。
- ・ 賑やかになるのは良いことだが、浅草や谷中地域などは国内外両方からの観光客が多くオーバーツーリズムにもなっている。住宅街にも観光客が溢れていることもあり、食料品や日用品の買い物に行きづらい、自転車で通行しにくいエリアも増えていて困る。
- ・ 台東区は観光事業で生きているといっても過言ではない街だと思うので、観光に力を入れることに関しては賛成する。ただ、観光客が増えすぎて街が汚くなり、地元の人々の生活に影響が出たりするのは良くないので、その点の対策は必要だと思う。
- ・ 観光客が多くなるのは良いことだと思うが、マナーが悪い。お店の人もう少しまわりを見てほしい。

【会議室・集会室の予約について】

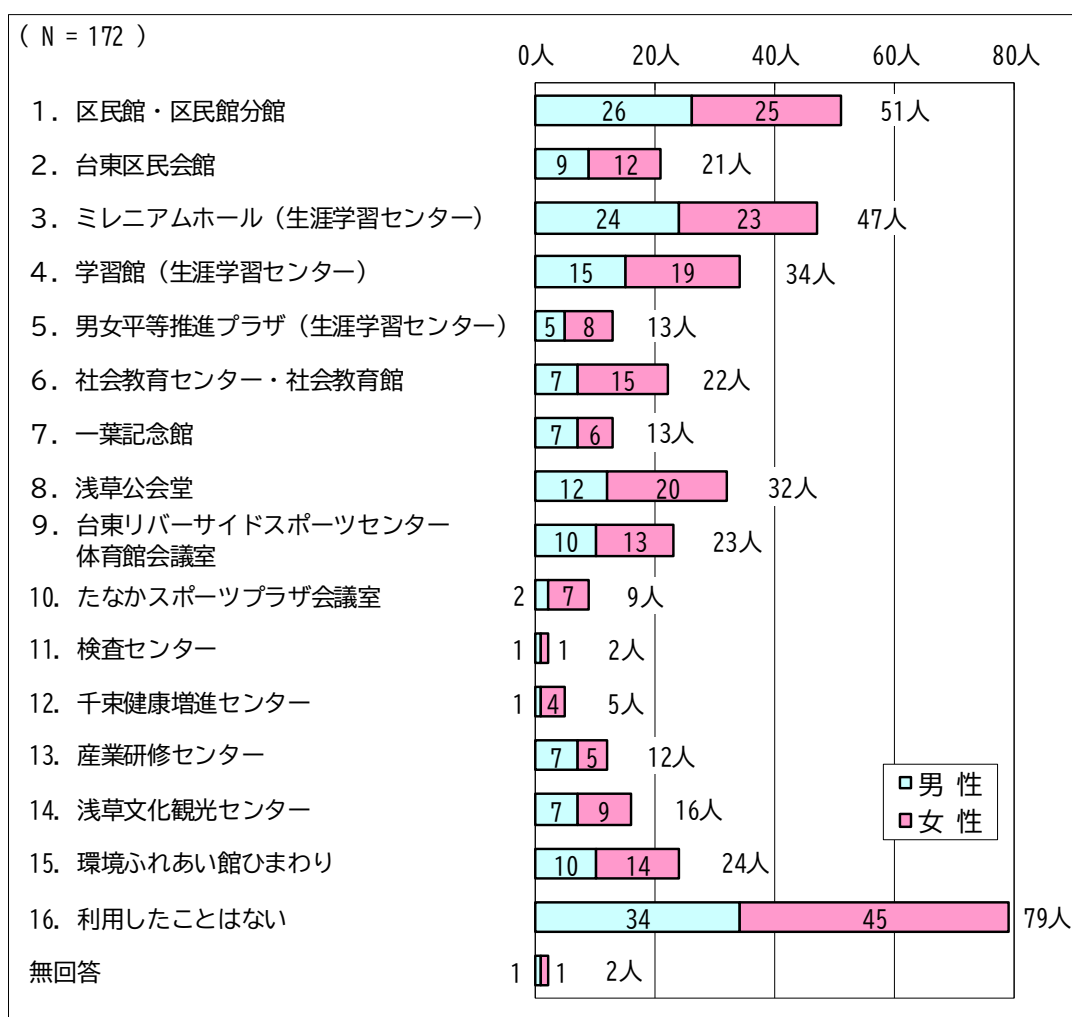
今回の調査では、半数以上が公共の集会室を利用されたことがある一方、予約区分の多さや区分により予約可能な施設が異なること、また予約方法の認知度の低さなどの課題があがりました。

また、公共施設予約システムに関しては、8割以上の方から「わかりやすい」「普通」と回答をいただきました。一方、「スマートフォン・タブレットから見やすい画面」や「オンライン決済の種類（PayPay等）」を求める回答も多くいただきました。

調査結果を踏まえ、システム改善をはじめとする集会室の利便性の向上に努め、より使いやすいシステムの構築や、集会室の利用率向上等を目指してまいります。

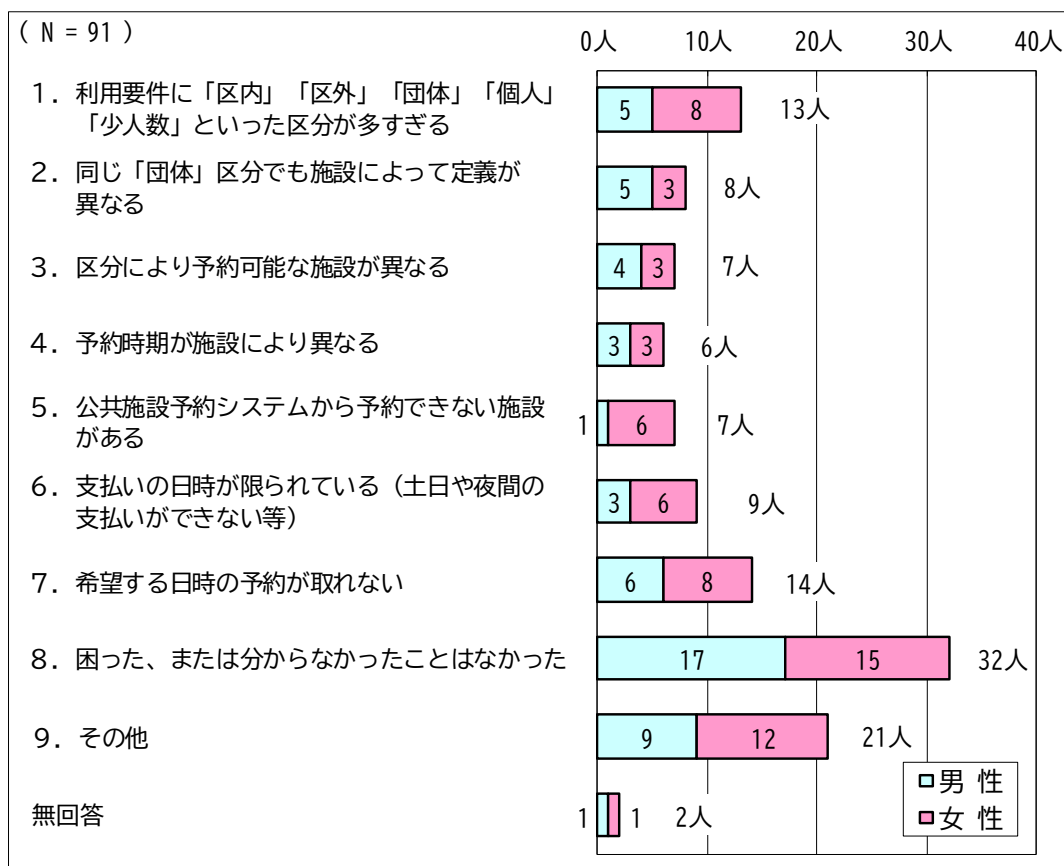
(用地・施設活用担当)

設問8：あなたが利用したことがある台東区の会議室・集会室はどこですか。(複数回答可)

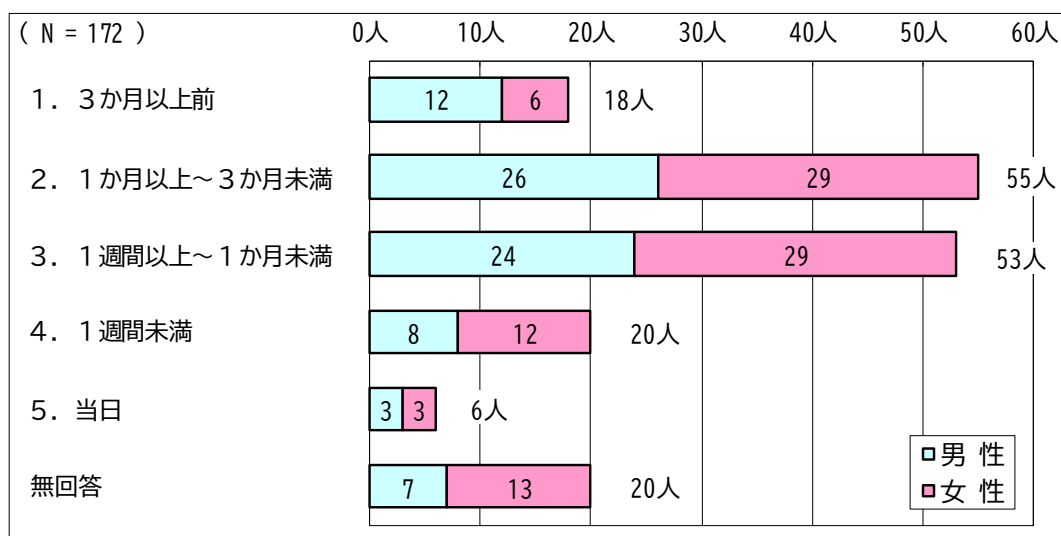


設問9：設問8で選択肢1～15を選択した方にお伺いします。

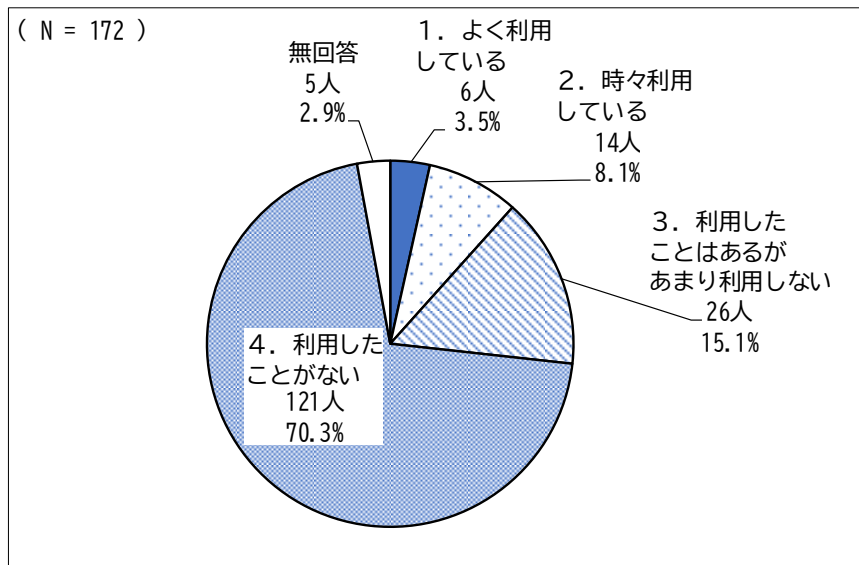
予約の際に困った、または分からなかったことはどのようなことですか。
(複数回答可)



設問10：会議室・集会室をいつ頃から利用したいと思うことが多いですか。

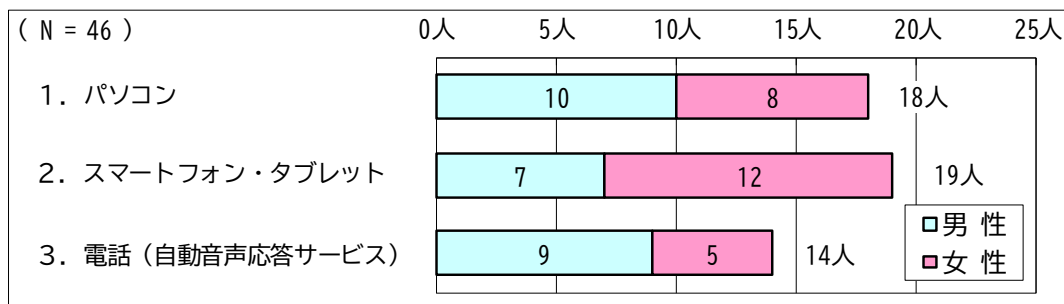


設問11：台東区の公共施設予約システムを利用していますか。



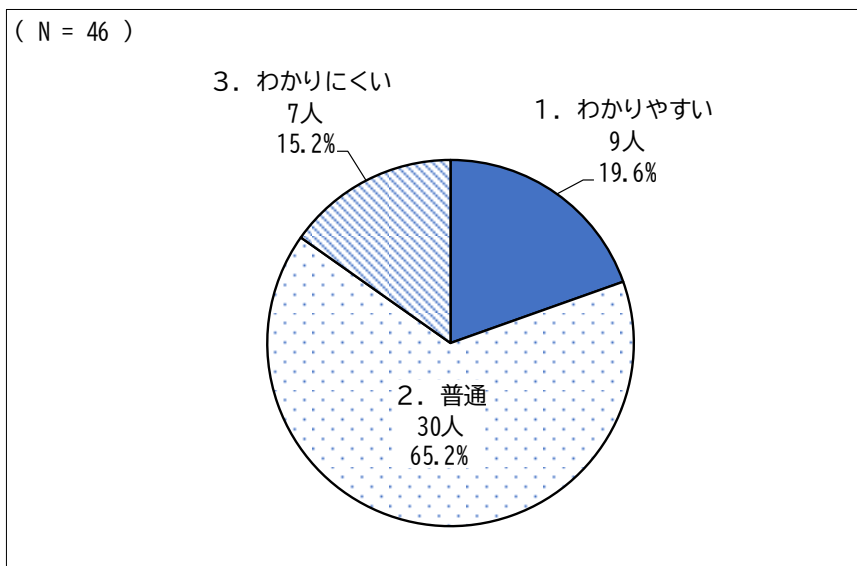
設問12：設問11で選択肢1～3を選択した方にお伺いします。

どのような方法で公共施設予約システムを利用していますか。(複数回答可)

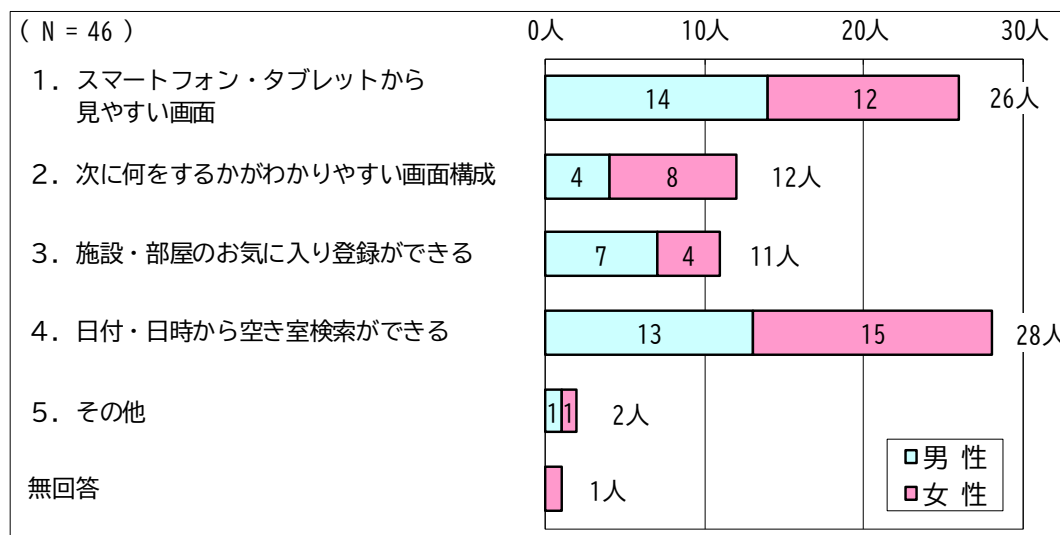


※選択肢3について、施設への電話による問い合わせも含むと思われる。

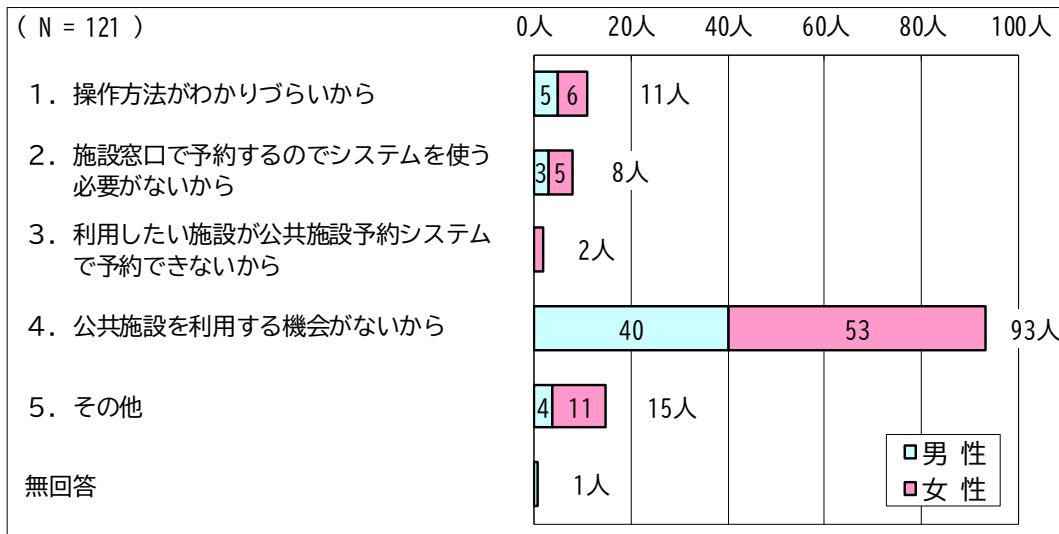
設問13：設問11で選択肢1～3を選択した方にお伺いします。
公共施設予約システムの操作はわかりやすいですか。



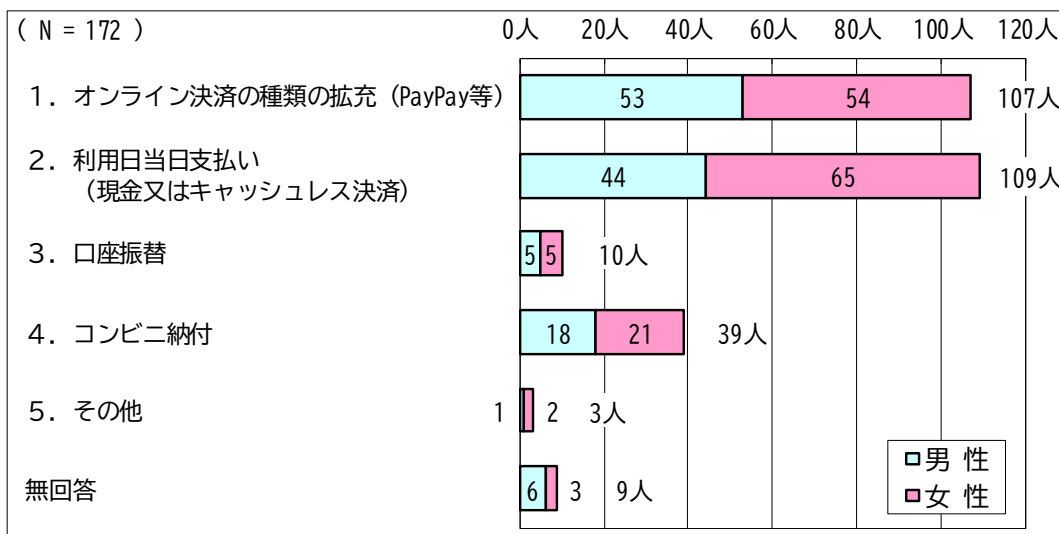
設問14：設問11で選択肢1～3を選択した方にお伺いします。
公共施設予約システムを利用するうえで、どのような機能があると使いやすいですか。(複数回答可)



設問15：設問11で選択肢4「利用したことがない」を選択した方にお伺いします。
その理由は何ですか。(複数回答可)



設問16：公共施設予約システムで予約した使用料の決済方法について、今後希望するものはどれですか。(複数回答可)



設問17：会議室・集会室の利用や公共施設予約システムについて、ご意見がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・もっと施設があること自体を広報紙に限らずPRしたほうが良い。
- ・若い人は使う機会がないと感じるため、使用を推進するならどのようなことに使えるかなども一緒に周知すべきと考える。
- ・利用できることを初めて知ったため、利用用途などと一緒に周知されると利用頻度が上がると思う。
- ・利用できることを初めて知ったため、広報たいとう等に記載があると良い。
- ・集会室を利用することのメリットを周知してほしい。
- ・どのような場所がどのような条件で借りることができるかわからない。情報をどこで入手すればいいかわからない。まるで一部の人間にしか利用できないとしか思えない。開けた環境を希望する。
- ・どんな設備があるのか、有料で何を追加できるのか知りたい。
- ・登録カード1枚で区の施設全てが予約できるようになると良い。
- ・定期的に体験型の企画や、伝統文化に関連する催しをすれば利用促進に繋がるかもしれない。
- ・集会室がこれほどあるとは知らなかったため、機会があれば活用したい。
- ・仕事や子どものイベントなどで使いたいと思う。うるさくしても大丈夫など、使用用途等も知りたい。
- ・公共施設は習い事などでよく利用する。自分で予約したことはないが、簡単に手続きができる仕組みがあると良い。
- ・ワーキングスペースとして使えるところがあれば利用したい。
- ・施設ごとにどのようなことができるのか周知を希望する。情報が集約されているものがあると良い。

- ・たくさんの人が利用できるよう、様々な予約方法があると良い。
- ・年間を通して利用できる方法があれば良い。(例：毎月第○曜日の○時～○時)
- ・ボランティア活動しているため、定時・定点で場所が確保できるようにしてほしい。
- ・他区のシステムはダンスや楽器練習のためよく使ったことがある。どの区も基本操作画面構成は似ているため個人的には問題ない。
- ・クレジットカードが使えるようになったのはありがたい。しかし、もっと電子マネーが使えたら良いと思う。スマホ保有率は高いため、もっとスマホから手軽に操作できる仕組みになるとより良いと思う。
- ・以前、予約しづらく分かりにくかった印象が強く、その後はシステムを利用していない。
- ・公共施設予約システムについては、多様化する決済方法に極力対応する方向で対処すべき。その際、キャンセルなどの対応ルールを周知し、トラブル低減にも留意し、公平感の維持に努めることも大切だと思う。

【献血、骨髄ドナーの登録について】

献血については、約4割の方がこれまでに献血したことがあり、その内11回以上献血された方が約4割と、継続して献血をされていることがわかりました。

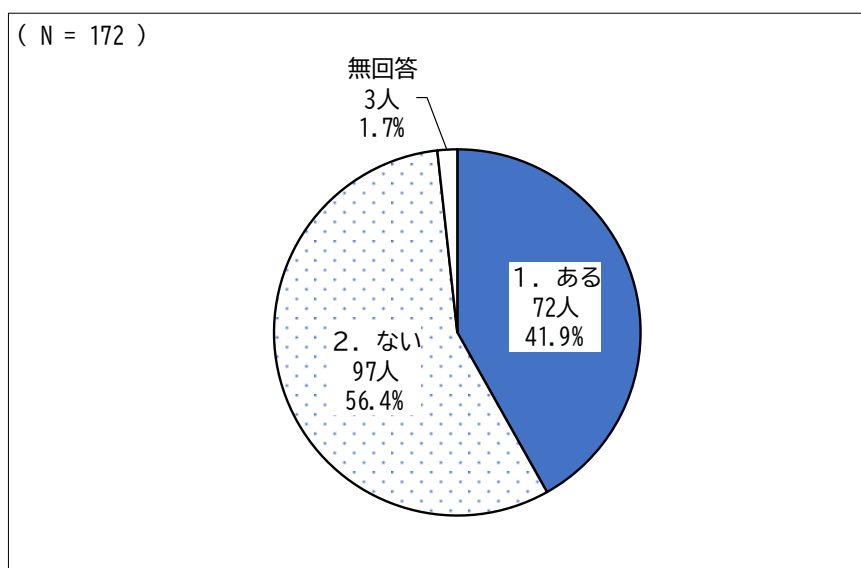
また若年層への献血参加の促進には、「土曜・日曜日の実施」「広報たいとう」や区公式ホームページ、区公式SNSでの周知」に多くの回答があり、今後の実施にあたり曜日や周知手段等を検討してまいります。

骨髄バンクについては、「聞いたことがある」を含めると8割以上となり、一定の方に周知がされていますが、献血ルームでドナー登録できることについては7割以上の方が「知らない」と回答されるなど、制度内容を含めさらなる周知が必要とわかりました。

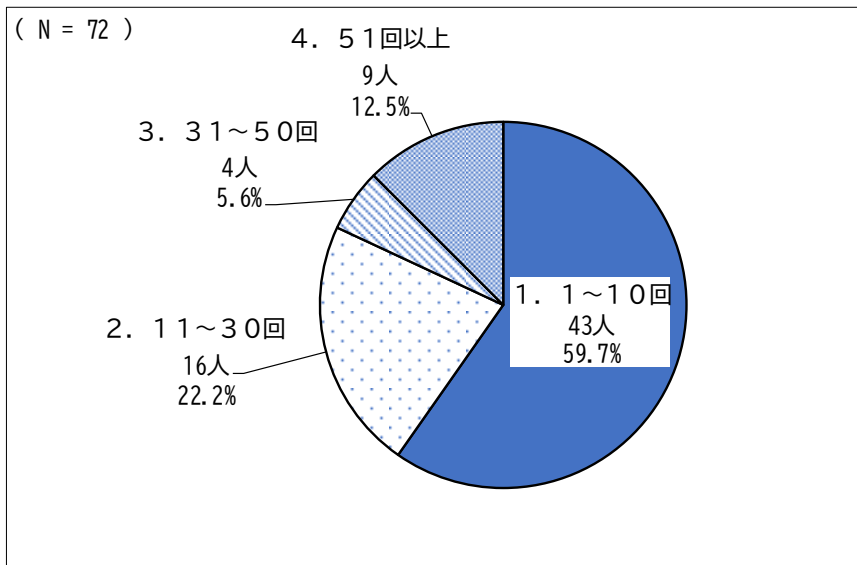
献血や骨髄バンク登録は年齢や健康面での要件等がありますが、より多くの方にご協力いただけるよう取り組んでまいります。

(健康部 生活衛生課)

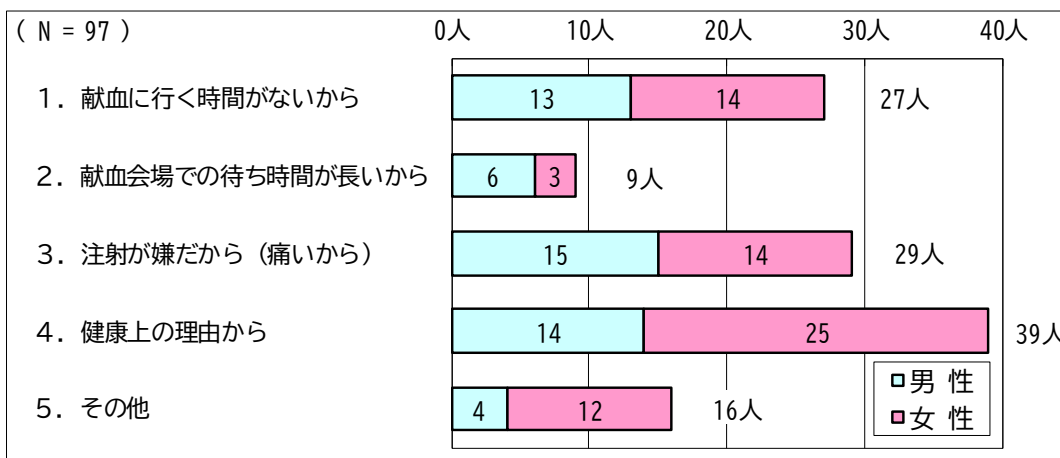
設問18： これまでに献血（全血献血・成分献血）をしたことがありますか。



設問19：設問18で選択肢1「ある」を選択した方にお伺いします。
 今までに何回程度、献血をしたことがありますか。



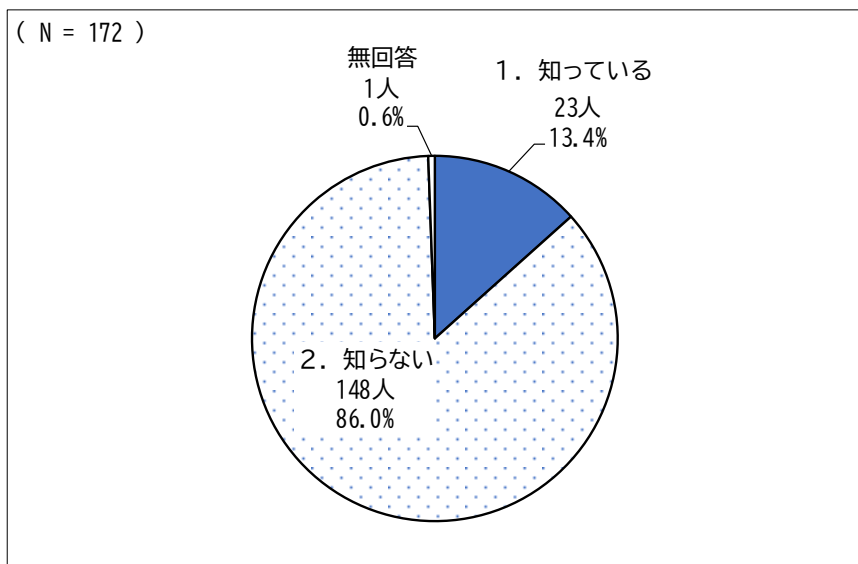
設問20：設問18で選択肢2「ない」を選択した方にお伺いします。
 その理由は何ですか。(複数回答可)



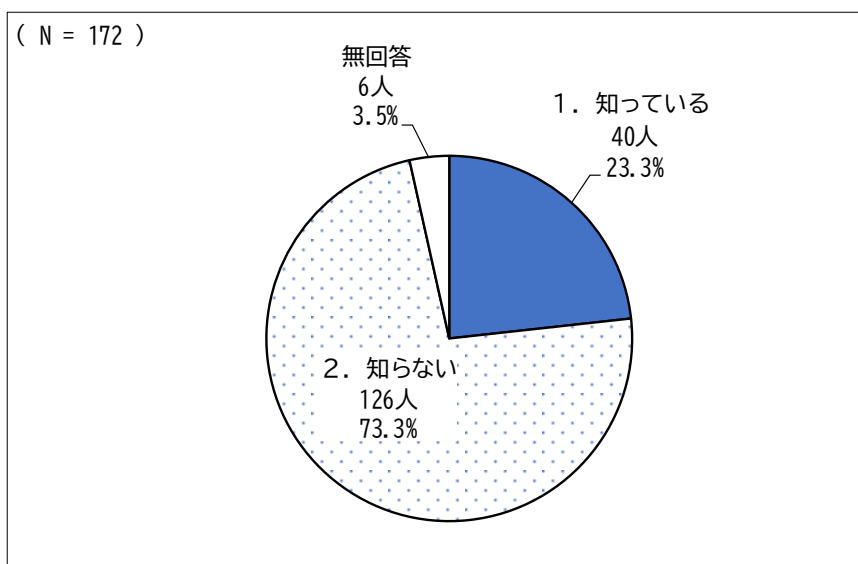
設問21：日本赤十字社のホームページや専用アプリ（※）では事前に献血予約ができます。
あなたはこのサービスを知っていますか。

（※）献血WEB会員サービス（日本赤十字社）

登録をすると、事前に献血予約や問診回答、また過去の献血記録等の閲覧ができます。

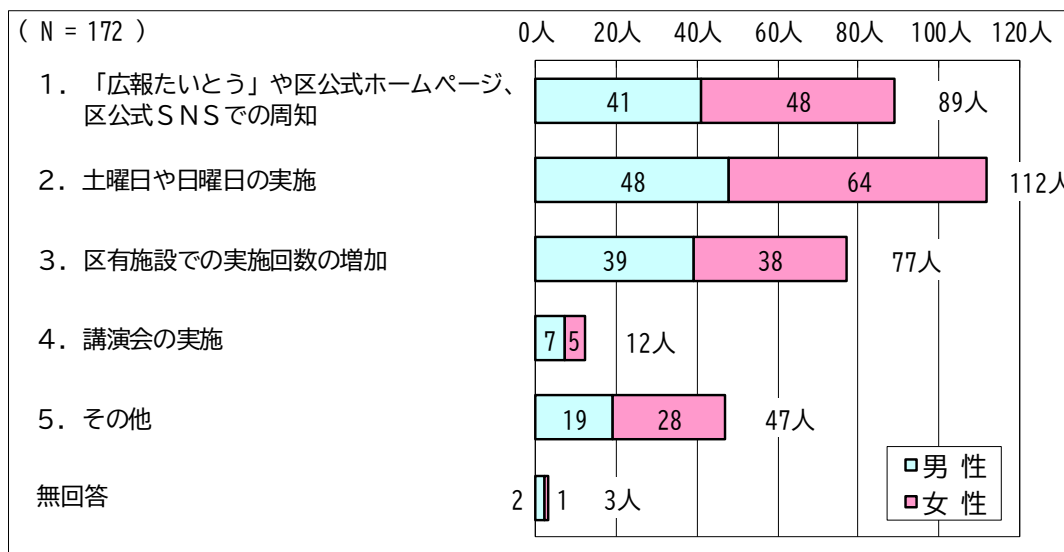


設問22：区では、50回以上献血をした方に感謝状をお渡ししています。あなたはこの感謝状贈呈について知っていますか。



設問23：10代～30代の献血者数が減少しています。

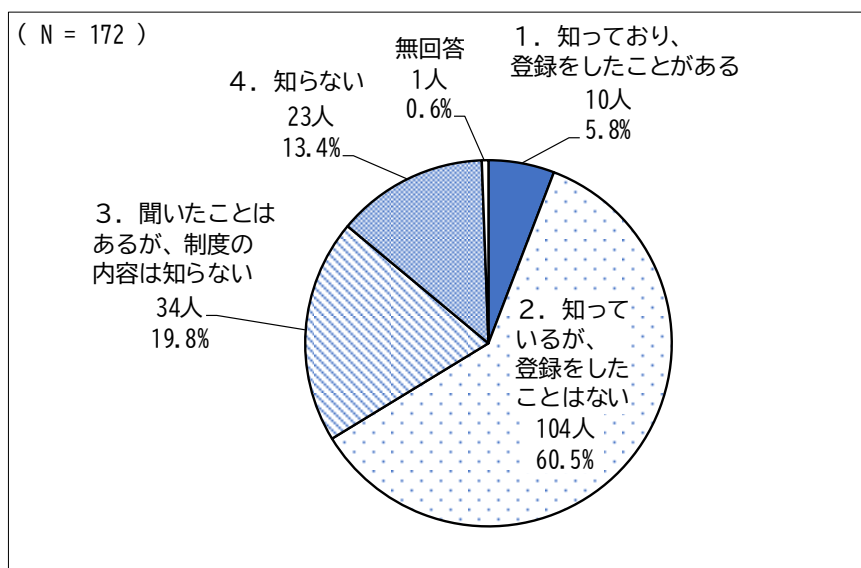
より多くの方から献血に協力してもらうようにするには、どのような取組が必要だと思いますか。（複数回答可）



設問24：日本骨髄バンクでは、白血病などの治療が困難な血液疾患の患者さんを救うため、ドナー登録を行う「骨髄バンク」(※) 事業を行っています。あなたはこの制度を知っていますか。

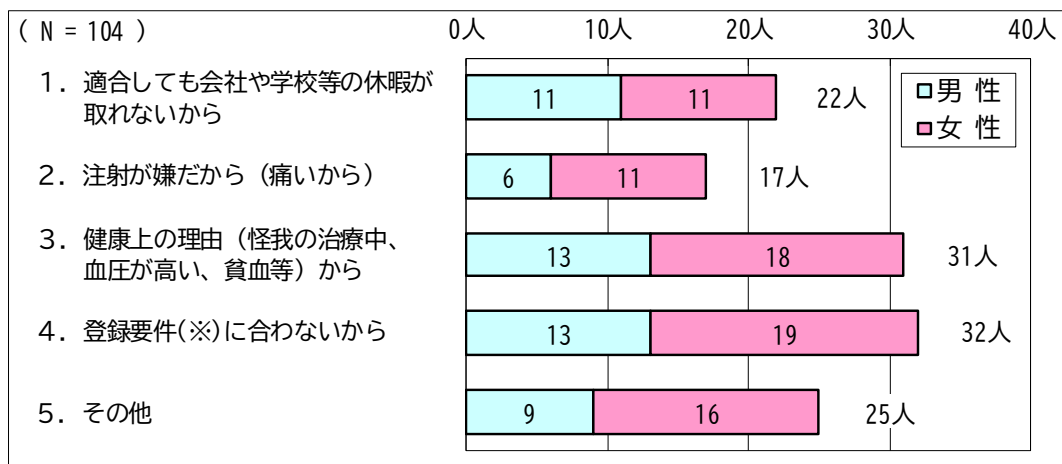
(※) 骨髄バンクについて

白血病等の重い血液疾患のため「骨髄移植」などの造血幹細胞移植が必要な患者と、それを提供するドナーをつなぐ公的事业で、公益財団法人 日本骨髄バンクが行っています。



設問25：設問24で選択肢2「知っているが、登録をしたことはない」を選択した方にお伺いします。

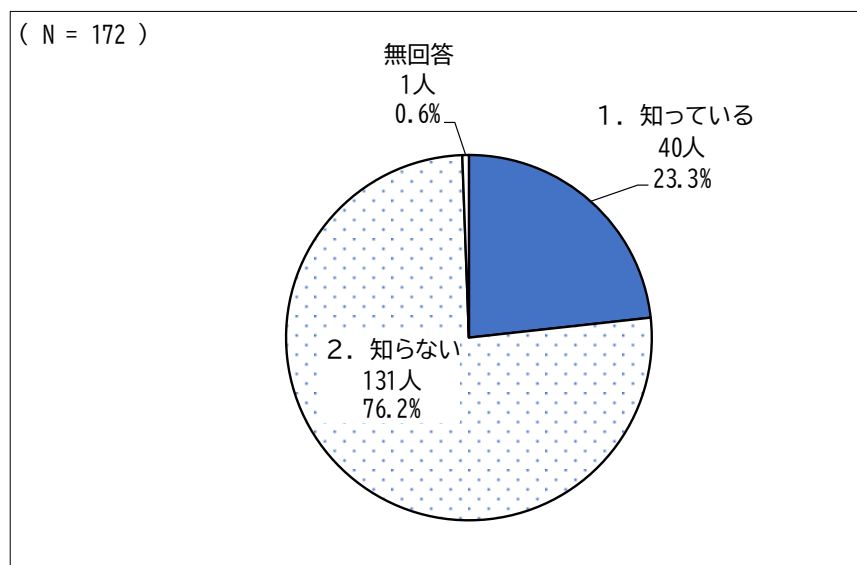
登録しない理由は何ですか。（複数回答可）



(※) 登録要件

- ・年齢：18歳～54歳以下で健康状態が良好
- ・体重：男性45kg以上、女性40kg以上

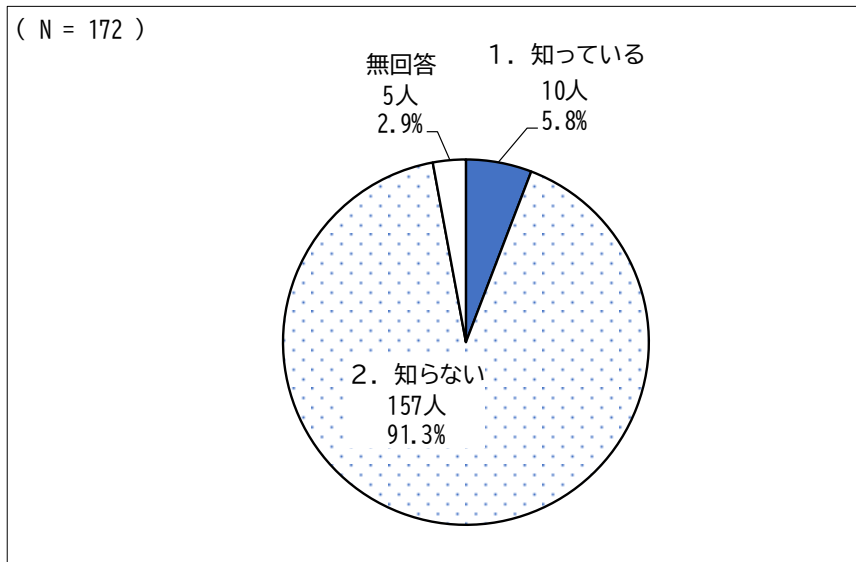
設問26：献血ルームでは骨髄ドナーの登録ができますが、知っていますか。



設問27：区では、骨髄バンクに登録していただける方を支援するため「骨髄移植ドナー支
援助成金」事業（※）を行っています。
あなたはこの制度を知っていますか。

（※）「骨髄移植ドナー支援助成金」事業

骨髄移植等を提供したドナー及びドナーが勤務する事業所に対して助成金を
交付。



設問28：献血、骨髄ドナーの登録について、ご意見がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・ SNS、また広報や掲示板など、とにかく目に触れる機会を増やす必要があると感じる。
- ・ わざわざ行こうと思わないので、実施会場や頻度を増やすべきだと思う。
- ・ 社会的意義はあるものの、なかなか登録が進まないのも分かる気がする。リスクを明確にして、必要なサポートが整ってから考える人のほうが多いと思う。
- ・ 区のどの地域に住んでいる人でも近くで献血に参加できるような場所を増やせば、献血しようという気持ちに繋げやすいのではないかと思う。SNSなどで場所や献血のメリットなどを頻繁に公開してほしい。
- ・ やりたいと思うこともあるが、自分の生活を止めることができないと思ったときに躊躇してしまっている。適合したときの具体的なサポートなどどんな事があるのか、区報やLINEで紹介してもらいたい。
- ・ 骨髄ドナーのリスクや安全性について、分かりやすく説明してほしい。
- ・ 健康上の理由からできない人がいることを理解し、配慮した広報や活動を考えてほしい。
- ・ 白血病等の血液腫瘍の治療のためには献血や骨髄ドナーへの協力が必要だが、時間的余裕がないなどの理由で協力が得られない場合がある。献血については、休日や夜間の受け入れを拡充してはどうか。
- ・ 身体的な痛みがどのくらいか想像するとなかなか実行に移せないのも、身近な人の体験（SNSや本当の口コミ）が後押しになると思う。
- ・ 献血を見かけたら、これを機会にしてみたいと思う。
- ・ 会社等、勤め先が積極的に有給を取らせてくれるなどの理解がないとなかなか難しいかもしれないと思う。
- ・ 仕事があるので土日に行っているが、当日に時間があるから行こうと思っても献血の予約が取れない。区施設で土日に行くことで気軽に行きやすくなると思う。

- ・ 周りに骨髄ドナーを頼りに生きている人がいるので必要性はよくわかる。もっと現状を知ってもらうのが最善策であり、映画やドラマでその大切さを中心に書いたものがあれば良い。
- ・ 献血などをしたい若者もいるとは思いますが、どこでやっているかよくわからない人も多い。若者が見るようなSNSなどで周知したほうが良いのではないかと。
- ・ 免疫不全のため治療で使わせていただいている。提供していただく立場なので、本当にありがたく感じている。
- ・ 献血やドナー登録の必要性はわかるが、現実感がなく、周りにもやっている人を聞かない。私自身を含めてもっと関心を持たなければいけないと思う。
- ・ SNSなどで宣伝していけば良いと思う。自分はこれから献血していこうと思う。
- ・ 自分ができる社会貢献のひとつと思い、長年献血を行なってきた。若者が興味を持つイベントを行い、その重要性を広めてほしいと思う。
- ・ 18歳以上の人に通っている学校で実施（年1～2回）してはどうか。人の集まる場所、上野公園、浅草、デパート等に月1回位登録場所を設置してはどうか。
- ・ 1年に1回くらい行きたいとは思ってはいるが、痛そうでなかなか勇気が出ない。
- ・ 献血もドナー登録も怖いイメージがあり、なかなかできないでいる。

II アンケート質問と回答

【観光振興について】

設問1: 台東区に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。

1. 好ましい	87人	50.6%
2. どちらかといえば好ましい	61人	35.5%
3. どちらかといえば好ましくない	20人	11.6%
4. 好ましくない	4人	2.3%
全体	172人	100.0%

設問2: 観光客が訪れることによるプラスの効果は、どのようなことが考えられますか。
(複数回答可)

1. 飲食業や宿泊業、地場産業などが潤い、経済効果がある	160人	93.0%
2. 新しいビジネスチャンスが生まれる	77人	44.8%
3. 台東区の知名度・イメージアップにつながる	102人	59.3%
4. 歴史・文化資源の保存・継承につながる	60人	34.9%
5. ボランティアガイドなど高齢者の活躍の場が広がる	60人	34.9%
6. 街が賑やかになる	83人	48.3%
7. その他	6人	3.5%
8. 特にない	2人	1.2%
全体	550人	

設問3: 観光客が訪れることによるマイナスの影響は、どのようなことが考えられますか。
(複数回答可)

1. 交通渋滞や路上駐車など交通環境が悪くなる	94人	54.7%
2. 混雑の要因になる	116人	67.4%
3. ごみが増える	121人	70.3%
4. 治安が悪くなる	98人	57.0%
5. マナー悪化の要因になる	116人	67.4%
6. 歴史・文化資源の保存・維持に不安がある	37人	21.5%
7. その他	8人	4.7%
8. 特にない	5人	2.9%
全体	595人	

設問4: 施設・道路等のバリアフリー化の推進や公衆トイレの整備、利便性の高い交通網などの観光基盤を整備することが、区民生活の向上につながると思いますか。

1. 非常につながると思う	114人	66.3%
2. ややつながると思う	46人	26.7%
3. あまりつながると思わない	11人	6.4%
4. 全くつながると思わない	1人	0.6%
全体	172人	100.0%

設問5: あなたは、台東区を魅力ある観光地としてほかの人に紹介できますか。

1. 進んで紹介できる（している）	72人	41.9%
2. 紹介できる（している）	79人	45.9%
3. あまり紹介できない	19人	11.0%
4. 全く紹介できない	1人	0.6%
無回答	1人	0.6%
全体	172人	100.0%

設問6: 区の観光振興への取り組みについて満足していますか。

1. 満足している	26人	15.1%
2. どちらかといえば満足している	103人	59.9%
3. あまり満足していない	33人	19.2%
4. 全く満足していない	6人	3.5%
無回答	4人	2.3%
全体	172人	100.0%

設問7: 観光振興についてご意見がありましたらご記入ください。

【会議室・集会室の予約について】

設問8: あなたが利用したことがある台東区の会議室・集会室はどこですか。（複数回答可）

1. 区民館・区民館分館	51人	29.7%
2. 台東区民会館	21人	12.2%
3. ミレニアムホール（生涯学習センター）	47人	27.3%
4. 学習館（生涯学習センター）	34人	19.8%
5. 男女平等推進プラザ（生涯学習センター）	13人	7.6%
6. 社会教育センター・社会教育館	22人	12.8%
7. 一葉記念館	13人	7.6%
8. 浅草公会堂	32人	18.6%
9. 台東リバーサイドスポーツセンター 体育館会議室	23人	13.4%
10. たなかスポーツプラザ会議室	9人	5.2%
11. 検査センター	2人	1.2%
12. 千束健康増進センター	5人	2.9%
13. 産業研修センター	12人	7.0%
14. 浅草文化観光センター	16人	9.3%
15. 環境ふれあい館ひまわり	24人	14.0%
16. 利用したことはない	79人	45.9%
無回答	2人	1.2%
全体	405人	

設問9: 設問8で選択肢1～15を選択した方にお伺いします。
予約の際に困った、または分からなかったことはどのようなことですか。(複数回答可)

1. 利用要件に「区内」「区外」「団体」「個人」「少人数」といった区分が多すぎる	13人	14.3%
2. 同じ「団体」区分でも施設によって定義が異なる	8人	8.8%
3. 区分により予約可能な施設が異なる	7人	7.7%
4. 予約時期が施設により異なる	6人	6.6%
5. 公共施設予約システムから予約できない施設がある	7人	7.7%
6. 支払いの日時が限られている(土日や夜間の支払いができない等)	9人	9.9%
7. 希望する日時の予約が取れない	14人	15.4%
8. 困った、または分からなかったことはなかった	32人	35.2%
9. その他	21人	23.1%
無回答	2人	2.2%
全体	119人	

設問10: 会議室・集会室をいつ頃から利用したいと思うことが多いですか。

1. 3か月以上前	18人	10.5%
2. 1か月以上～3か月未満	55人	32.0%
3. 1週間以上～1か月未満	53人	30.8%
4. 1週間未満	20人	11.6%
5. 当日	6人	3.5%
無回答	20人	11.6%
全体	172人	100.0%

設問11: 台東区の公共施設予約システムを利用していますか。

1. よく利用している	6人	3.5%
2. 時々利用している	14人	8.1%
3. 利用したことはあるがあまり利用しない	26人	15.1%
4. 利用したことがない	121人	70.3%
無回答	5人	2.9%
全体	172人	100.0%

設問12: 設問11で選択肢1～3を選択した方にお伺いします。
どのような方法で公共施設予約システムを利用していますか。(複数回答可)

1. パソコン	18人	39.1%
2. スマートフォン・タブレット	19人	41.3%
3. 電話(自動音声応答サービス)	14人	30.4%
全体	51人	

設問13: 設問11で選択肢1～3を選択した方にお伺いします。
公共施設予約システムの操作はわかりやすいですか。

1. わかりやすい	9人	19.6%
2. 普通	30人	65.2%
3. わかりにくい	7人	15.2%
全体	46人	100.0%

設問14: 設問11で選択肢1～3を選択した方にお伺いします。
公共施設予約システムを利用するうえで、どのような機能があると使いやすいですか。
(複数回答可)

1. スマートフォン・タブレットから見やすい画面	26人	56.5%
2. 次に何をすることがわかりやすい画面構成	12人	26.1%
3. 施設・部屋のお気に入り登録ができる	11人	23.9%
4. 日付・日時から空き室検索ができる	28人	60.9%
5. その他	2人	4.3%
無回答	1人	2.2%
全体	80人	

設問15: 設問11で選択肢4「利用したことがない」を選択した方にお伺いします。
その理由は何ですか。(複数回答可)

1. 操作方法がわかりづらいから	11人	9.1%
2. 施設窓口で予約するのでシステムを使う必要がないから	8人	6.6%
3. 利用したい施設が公共施設予約システムで予約できないから	2人	1.7%
4. 公共施設を利用する機会がないから	93人	76.9%
5. その他	15人	12.4%
無回答	1人	0.8%
全体	130人	

設問16: 公共施設予約システムで予約した使用料の決済方法について、今後希望するものはどれですか。(複数回答可)

1. オンライン決済の種類の拡充 (PayPay等)	107人	62.2%
2. 利用日当日支払い (現金又はキャッシュレス決済)	109人	63.4%
3. 口座振替	10人	5.8%
4. コンビニ納付	39人	22.7%
5. その他	3人	1.7%
無回答	9人	5.2%
全体	277人	

設問17: 会議室・集会室の利用や公共施設予約システムについて、ご意見がありましたらご記入ください。

【献血、骨髄ドナーの登録について】

設問18: これまでに献血（全血献血・成分献血）をしたことがありますか。

1. ある	72人	41.9%
2. ない	97人	56.4%
無回答	3人	1.7%
全体	172人	100.0%

設問19: 設問18で選択肢1「ある」を選択した方にお伺いします。
今までに何回程度、献血をしたことがありますか。

1. 1～10回	43人	59.7%
2. 11～30回	16人	22.2%
3. 31～50回	4人	5.6%
4. 51回以上	9人	12.5%
全体	72人	100.0%

設問20: 設問18で選択肢2「ない」を選択した方にお伺いします。
その理由は何ですか。（複数回答可）

1. 献血に行く時間がないから	27人	27.8%
2. 献血会場での待ち時間が長いから	9人	9.3%
3. 注射が嫌だから（痛いから）	29人	29.9%
4. 健康上の理由から	39人	40.2%
5. その他	16人	16.5%
全体	120人	

設問21: 日本赤十字社のホームページや専用アプリでは事前に献血予約ができます。あなたはこのサービスを知っていますか。

1. 知っている	23人	13.4%
2. 知らない	148人	86.0%
無回答	1人	0.6%
全体	172人	100.0%

設問22: 区では、50回以上献血をした方に感謝状をお渡ししています。あなたはこの感謝状贈呈について知っていますか。

1. 知っている	40人	23.3%
2. 知らない	126人	73.3%
無回答	6人	3.5%
全体	172人	100.0%

設問23: 10代～30代の献血者数が減少しています。より多くの方から献血に協力してもらうようにするには、どのような取組が必要だと思いますか。（複数回答可）

1. 「広報たいとう」や区公式ホームページ、区公式SNSでの周知	89人	51.7%
2. 土曜日や日曜日の実施	112人	65.1%
3. 区有施設での実施回数の増加	77人	44.8%
4. 講演会の実施	12人	7.0%
5. その他	47人	27.3%
無回答	3人	1.7%
全体	340人	

設問24: 日本骨髄バンクでは、白血病などの治療が困難な血液疾患の患者さんを救うため、ドナー登録を行う「骨髄バンク」事業を行っています。あなたはこの制度を知っていますか。

1. 知っており、登録をしたことがある	10人	5.8%
2. 知っているが、登録をしたことはない	104人	60.5%
3. 聞いたことはあるが、制度の内容は知らない	34人	19.8%
4. 知らない	23人	13.4%
無回答	1人	0.6%
全体	172人	100.0%

設問25: 設問24で選択肢2「知っているが、登録をしたことはない」を選択した方にお伺いします。登録しない理由は何ですか。（複数回答可）

1. 適合しても会社や学校等の休暇が取れないから	22人	21.2%
2. 注射が嫌だから（痛いから）	17人	16.3%
3. 健康上の理由（怪我の治療中、血圧が高い、貧血等）から	31人	29.8%
4. 登録要件に合わないから	32人	30.8%
5. その他	25人	24.0%
全体	127人	

設問26: 献血ルームでは骨髄ドナーの登録ができますが、知っていますか。

1. 知っている	40人	23.3%
2. 知らない	131人	76.2%
無回答	1人	0.6%
全体	172人	100.0%

設問27: 区では、骨髄バンクに登録していただける方を支援するため「骨髄移植ドナー支援助成金」事業を行っています。あなたはこの制度を知っていますか。

1. 知っている	10人	5.8%
2. 知らない	157人	91.3%
無回答	5人	2.9%
全体	172人	100.0%

設問28: 献血、骨髄ドナーの登録について、ご意見がありましたらご記入ください。

令和6年度 第2回
台東区区政サポーターアンケート調査報告書

編集・発行 令和6年9月
台東区総務部広報課
令和6年度登録第29号